

NPO法人南港ウェットランドグループ

大阪府 大阪市



▲干潟の生きもの観察会



▲展望塔



▲南池ハマシギ飛来

昭和58年に開園した大阪南港野鳥園には、干潟が人工的に再生されています。この干潟には、貝、ゴカイ、カニなどのさまざまな生きものが生息しています。そして、これらの小さな生きものを食べる野鳥が集まってきます。代表的な野鳥がシギやチドリです。シギやチドリは、その多くの種が繁殖地シベリアと越冬地オーストラリアとの間を渡ります。大阪南港野鳥園は、シギやチドリの渡りの重要な中継地となっており、「東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク」に登録されています。

大阪南港野鳥園では、行政、NPO法人、市民が協力して継続的に環境保全活動が行われています。特に「アオサ取り」は、人工的に再生された干潟を健康に維持するのに不可欠な活動です。流れが滞りやすい浅場は、初夏から秋にかけてアオサという海藻が大量に発生します。枯れ始めると大量の酸素を消費し、硫化水素やメタンなどが発生して、貝、ゴカイ、カニなどが生活できなくなります。シギやチドリなどの渡り鳥にも悪影響を与えます。そこで、6～7月にアオサを取り除く作業を行い、多くの市民がボランティアとして参加しています。

ふだんは立ち入りが禁止されている干潟での作業なので、干潟の生きものを観察し、干潟や大阪湾、シギやチドリの渡り鳥について知るいい機会となっています。



▲アオサ取り

所在地

大阪市住之江区南港北3-5-30

現地への交通

- 南港ポートタウン線トレードセンター前駅 3番出口から緑道を西へ13分
- 阪神高速湾岸線南港北出口より10分・咲洲トンネル出口より5分

近隣の観光地、施設など

- なにわの海の時空館
- インテックス大阪
- WTC (ワールドトレードセンター)
- ATC (アジア太平洋トレードセンター)

活動内容

- 6月～7月 「南港生きもの育て隊—アオサ取り—」(計4回程度実施)
- 5月中旬 バードウィーク市民探鳥会
- 6月・11月 干潟の清掃活動

活動主体名

- NPO法人南港ウェットランドグループ
<http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com>

応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

大阪市 港湾局 計画整備部 環境緑地課
 【電話番号】
 06-6615-7799